



碧南ロータリークラブ週報

第2855回例会 平成30年1月31日(水)

- 会長 木村 徳雄
- 幹事 角谷 信二
- 会場監督(SAA) 長田 和徳

2017-2018 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 貝田隆彦・黒田泰弘・岡島晋一



ロータリー:
変化をもたらす

●齊 唱

ロータリーソング「ロータリー讃歌」

●本日のお弁当

お非時 (大正館文化会館店)

●本日のお客様

高浜RC 名倉隆司君 三河安城RC 深津茂樹君
半田RC 畑中雅之君 半田南RC 榊原和久君

会 長 挨 拶

皆さん、こんにちは。今日は、一風変わって職場例会でございますけども、清澤さんと貝田さんにご準備いただきまして、お題は、「今さら聞けない、葬儀でしなければいけない大切なマナー」でございますので、よろしくお願い致します。



木村徳雄会長

今日の雑学は、指紋認証ならぬ「鼻紋認証」の話でございます。同じ指紋を持った人がいないというのは、当たり前でございますけども、動物界では、よくチップを入れて認証というものがございまして、人間のように指紋を持った動物はあまりいません。個体識別は難しいのですが、犬や猫などの動物は、「鼻紋」と言って、鼻の頭にできる筋状の紋様によって個体識別が可能なのであります。つまり、同じ鼻紋を持った動物は2匹としないこととなります。この鼻紋認証が活用されているのが牛の世界でありまして、食用として飼育される牛が生まれた時に鼻紋を採取して、全国和牛登録協会に登録すると、どこのどの牛なのかを判別することができます。但し、ホルスタインは、白と黒の紋様が1頭1頭違うということで、鼻紋の登録はお金が掛かりますので、自分の農場で覚えておけば良いということでもあります。

そんな訳でつまらない話でございましたけども、会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 国際ロータリー日本事務局より 2 月のレートのお知らせが届いております。現行の 1 ドル 114 円より 110 円になります。
- ・ 次週の 2 月 7 日の例会終了後に第 8 回の理事会を開催致します。関係の皆様方、ご出席をよろしくお願い致します。



角谷信二幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

| | |
|--|---------------|
| 総会員数 68 名 (内出席免除者 16 名の内出席者 5 名)出席者 50 名 | |
| 出席対象者 50/57 名 | 出席率 87.72% |
| 欠席者 18 名(病欠者 0 名) | 前々回修正出席率 100% |

※十週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

- 木村 徳雄君 1月27～28日、碧南市民スキー大会今年で57回目をむかえて、無事に終わりました。私もケガもなく、少し飲みすぎはありましたが、来年に向けて又頑張ります。
- 角谷 信二君 本日、貴重な体験をさせていただきます。
- 伊藤 正幸君 黒田泰弘さんに素敵な機会をいただきました。
- 清澤 聡之君 本日は卓話をさせていただきます。貝田商店様、資料の提供ありがとうございます。
- 森田 雅也君 貝田さん、清澤さん、今日の卓話よろしくお願い申し上げます。
- 大竹 密貴君 先日、奥津さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

職 場 例 会 セ レ モ ニ ー ホ ー ル 碧 雲

「葬儀葬式マナーについて」

(有)貝田商店 代表取締役 貝田隆彦会員

只今、ご紹介に与りました貝田です。本題に入る前に、前回の卓話の「私の履歴書」の時に、妻から『つかみ』が大事だと助



貝田隆彦会員

言を貰いまして、今回も助言を貰いましたので、これを『つかみ』にしたいと思います。

第2弾です。30年程前まで保育士をしていた妻から「原稿なんか読んでないで、相手の目を見て喋らないと、子供なら自分に関係ないと思うよ。」と言われました。その通りだと思いますけど、今の私の立場は、週報の委員長でスピーチ原稿の依頼をお願いしているので、そうはいかなくて、今は原稿を読んでいます。

それと、「普段より『半音』上げた声で喋らないと、葬式の司会になっちゃうよ。」とこれも上手い例えだなあと思いましたが、『半音』というのはどれくらいだろうか、気持ちくらいで良いのだろうかと混乱しております。『つかみ』だけで終わってしまいそうなので、本題に入ります。

先程、召し上がっていただいた『お非時』ですが、どうして葬式の昼食を『お非時』というのでしょうか。諸説あるそうですが、ここでは、2つをご紹介しますと思います。

書いて字のごとく『ときにあらず』です。どうも昔のお坊様は、朝と晩の2回しか食事をしなかったそうで、その食事を『おとき』と言っていたそうです。おときときは、「斎藤さんだぞ！」の斎の字です。従って、昼食は、食事をする時でないので、『お非時』だとする説と、葬式の時間というのは、朝だったり昼過ぎだったりマチマチなので、食事をする時間が定まらないので、『お非時』だとする説があるそうです。

また、お非時ぐらいは、亡くなられた方への畏敬の念を込めて、精進料理でありたいものです。厳密に言うと、精進料理は、肉や魚を抜くだけでなく、だしも鰹だしではないものだそうです。それと同じような食事を名古屋では、『出立ち（でだち）』と言います。お非時との違いは、葬式の前に腹ごしらえをして、葬式に臨むみたいなのところがあります。

余談ですが、私が30年程前に名古屋の葬儀屋にいた頃の事ですが、あの頃は、お寺や自宅での葬式で、午後1時からの葬式が多かったので、葬式の前に食べるには丁度良かったのですが、朝10時からの葬式もございまして、9時頃から食べて見える方を見て、「おいおい朝食かよ。」と思った記憶があります。

またまたいらん事ですが、今は、名古屋でも会館の都合で午前10時からの葬式が増えているのに、それでも『出立ち』を朝の9時頃から食べているのでしょうか？わかりません。

また、葬儀会館が出来始める20年程前までは、この地区でのお非時は、お隣組の人達が担当しておりました。その中身は、野菜の煮物・酢の物、豆腐の和え物、炊き込みご飯にちらし寿司、汁物などと記憶しております。当会館では、この『お非時文化』とも言うべきものを継承しつつ、お隣組の手を煩わせない形で、温かいご飯・味噌汁を提供しております。温かいご飯にこだわられるのも、火葬場から近いという地の利のおかげで、会館でお非時を召し上げただけのからだ感謝しております。

ここで、職場例会でせっかくお集まりいただいたので、職場紹介をさせていただきます。

ここが、セレモニーホール碧雲、通称本館で、150人～200人くらい収容のホールです。いわゆる一般葬向けの会館です。そもそも葬儀会館というのは、お参りをする祭壇部屋のホールと食事をする会食室と家族がくつろぐ親族控え室と受付や会葬者のためのエントランスロビーから成り立ちます。斜め向かいに、家族葬向けの葬儀・法要ホール碧雲別館があります。収容人数は、公には30人～50人ですが、会食室との扉を開ければ、100人くらいまで

は大丈夫です。家族葬・法要の増加により、今、1番使っている会館です。現に、今現在も使用中です。3番目は、隣の神社に近い法要ホール碧雲東館です。20人～30人くらいまでの会館ですが、法要だけでなく、今では、小さな家族葬までするようになりました。

当社では、予想会葬者の人数に応じて、いわゆる『一般葬』は本館、会社関係などのいわゆる義理の方にご遠慮いただく『親族葬』は別館、隣組の方や知人・友人の方々のもご遠慮いただき、極近い親族のみの『家族葬』は東館と、使い分けております。

よく皆様にご質問いただくのは、『家族葬』とはどういうものですか？と聞かれます。家族団らんとか家族想いとかを連想させる耳当たりの良い言葉ですが、この地域の皆様に思われている『家族葬』は、別館クラスの会社関係などのいわゆる義理の方にご遠慮いただくくらいのお葬式だと思います。『家族葬』という訃報を受けたら、以上のような事を踏まえて、ご判断いただければ良いかと存じます。

そういう事で、取り留めのない話でございましたが、ありがとうございました。

「最近の葬儀事情について」

真宗大谷派西方寺 住職 清澤聡之会員

始める前に仏教の関係もごございますので、三帰依文の拝読から始めさせていただきます。

それでは、テーマが「今さら聞けない、葬儀でなければいけない大切なマナー」と伺っておりましたので、ご紹介したいと思います。



清澤聡之会員

愛知県が全国で仏教系の寺院が1番多いというのは、ご存知かと思われます。宗教法人を含む宗教団体は、神道系 87,967 団体、仏教系 84,675 団体、キリスト教系 8,618 団体、諸教 35,667 団体という形で、約 216,927 団体あり、その内、宗教法人として日本全国にありますのが、181,098 法人（2016.12.31 現在）であります。

その中で愛知県はということで、

日本の人口・・・127,094,745 人（平成 28 年 10 月 1 日現在）

愛知県の人口・・・7,531,789 人（平成 29 年 12 月 1 日現在）

京都府の人口・・・2,599,717 人

碧南市の人口・・・72,066 人

平均寿命・・・2016 年の日本人の平均寿命は 84.06 歳

日本の宗教人口・・・182,266,404 人（人口の約 1.43 倍 平成 28 年 12 月 31 日現在）

全国の宗教法人・・・181,497 法人

仏教系・・・77,336 法人

愛知県・・・4,558 ケ寺（真宗大谷派 尾張 678+三河 385=1063 ケ寺）

京都府・・・3,023 ケ寺

碧南市・・・56 ケ寺（真宗大谷派 18 ケ寺）

であります。年々、跡継ぎがいなくて減少しているという状況でございます。

近年は家の宗教から個の宗教に変わりつつある中で、葬儀の形態が変わってきています。そういった状態の中で、誰もが「死」からは避けることができないという事実があります。その事をしっかりと自覚した生活を送り、いざその時が訪れたら甘んじて受け入れられる我が身となることが願われます。

一般葬・家族葬・社葬・密葬・直葬等、様々な形態がある中、共通することは、死を迎えた人と死者を送る人が向かい合うということです。故人と対峙し、今尚命をいただく喜びをしっかりと噛み締め、感謝する最後の儀礼であります。その中で、葬送・弔問に際して気を付けなければならないことはどのようなことなのかを少し考えてみます。

臨終時には、菩提寺に連絡をし、葬儀社へ依頼する。近頃は、病院からの搬送を優先するにあたり、葬儀社に連絡後、寺院関係に通知が入ります。

資料の 2 ページ目のところに大体の葬儀の流れの事が書いてあります。ここに触れだすと大変深い話になっていきますので、割愛させていただきます。

よく、「香典袋はどうやって書くの？」という話がございます。宗教によって違いがありますので、資料をご参照ください。今日、入って来ていただいた時にお香の匂いがしませんでしたでしょうか。あれを好きか嫌いかはともかくとして、香を薫ずるという儀式がございます。最初に来ていただいた時にまずはお香の匂いを嗅いで、そして、香を焚き染めて、茶毘に付すところから葬儀と言わず、香儀と言います。ですから、昔は御香を持ってお参りに行って、それを薫じて帰ってくるというのが正式な姿でございました。ですけども、昨今は手間を省くということを含めて、お金を持って御香儀または御香資という言葉に変えて包んで持っていきます。一般の方は御香典で結構かと思われれます。金額には決まりはありませんので、関わり方や相互間の状況で変わります。

焼香の仕方については、宗教・宗派によって違いがございます。一般的には1～3回で、それぞれに意味がございまして、真宗においては、大導師は二握（握って焼香を2回）。他の方は二撮（つまんで2回）になります。

他宗においては、

- 1 回目・・・一心にこころを込めて。（額の辺りまで持っていく故人を偲ぶ。）
- 2 回目・・・仏様とご先祖を敬う。（そのまま香をくべる。）
- 3 回目・・・仏、宝、僧の三宝を敬う。

方法として、右手の親指・人差し指・中指の3本でお香を摘み、左手を添えて軽く頂戴して焼香します。他に親指・中指・薬指の3本の指の作法もございます。宗派によって違いがございますので、檀那寺に確認されると良いかと思えます。

数珠においても宗旨・宗派によって違いがございます。大谷派では、1連の数珠は房を下にし、2連となると親玉を重ね、左手の親指と人差し指で挟み、房は左手の甲に垂らす形になります。

最後にこの2点を頭の中に置いといてください。法名と戒名は違います。一般的によく戒名と皆さん申されますけども、戒名は、戒（禁制の義）を受けた後、俗名を改めて受けたる法號。法名は、本来は生存中に帰敬式（お剃刀）を受け、釋の字を附して等しく仏門に入

りし人。なかなか難しいと思いますが、今後の生活の中で覚えておいていただきたいと思います。

近頃は、終活として片付けられる方もありますので、元気なうちに法名からお墓の後のことも考えて生活をしていただく。それには、今ある命を大変喜んでいただけることを念じております。

長くなりましたけども、本日の卓話とさせていただきます。ありがとうございました。

次回例会案内

平成30年2月14日（水） 定款第8条第1節Cによる休会

平成30年2月21日（水） 「乱世に灯をかかげた蓮如上人」

池端 蓮成寺 住職 青木 馨氏